

マスターメカニク科、 自動車整備・トータルマスター科			2026年度 授業計画		
時 期	3年又は4年後期	単 元	実 習	教科名	応用実習 2
科 目	—	教科書等 持参品	学生手持ち工具		発行日
総時限	60		定期点検の手引き		2026年3月24日
総時間	96		日産整備士 3 級テキスト		教科 担当
					松本 良和口
1. 指導教員の実務経験 該当 非該当					
自動車整備士として、自動車の整備に関する実務経験を積む					
2. 教科の目的（この学科の狙い、目的を明確に記入）					
1. 整備工場で実施する作業を習得する 2. 基本作業の中で部品良否判定のポイントを理解・習得する 3. 分解整備に関する基礎作業を理解する					
3. 授業の到達目標（何を理解し何ができるようになるのか）					
1. 安全を最優先して作業ができる 2. 各作業を行う際、部品の良否判定を考慮しながら作業を進められる 3. 適切な工具の選択ができる 4. 整備を行うために必要な、考え方を学ぶ					
4. 学習評価（期末試験での主な試験項目）					
・作業内容をレポート課題として提出 レポートの内容等を 100 点満点で採点する ・合格点：60点以上 80点以上：優 60点以上：良（一級工学科70点以上） 60点未満：不可（一級工学科70点未満） ・不合格の場合、再試験を受験し、60点以上で合格とみなす。（一級工学科70点以上） 再試験合格の場合、得点に関わらず評価は「可」とする。 ・再試験不合格の場合、学校長の権限により教科判定試験を実施し、合格とみなす場合がある。					
5. 準備学習					
・日産整備士 3 級テキストのエンジン制御についての復習を実施					
6. 学修時間と単位					
本科目は、1単位あたり45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準としている。 1単位の修得に必要な学修時間の目安は、30～45時間の授業および授業時間外学修（予習・復習など）15～0時間である。					

マスターメカニク科、
自動車整備・トータルマスター科

2026年度 授業計画

時 期	3年又は4年後期	単元	実習	教科名	応用実習 2	
7. 授業概要（時限ごとの主な授業内容）					8. 教科書、資料、備品類	
時限	主な授業内容				資料、備品類	数量
1	エンジンOH、ミッションOH、サスペンションOH				実習車両	3
2					カーリフト	2
3					ガレージジャッキ	2
4	エンジン脱着				リジトラック	8
5	ミッション脱着				インバクトレンチ	3
6	ディファエレンシャル脱着				エアゲージ	1
7	サスペンションメンバ脱着				トルクレンチ	5
8					学生手持ち工具	学生分
9					定期点検の手引き	学生分
10					法令教材	学生分
11					日産整備士 3 級テキスト	学生分
12						
13						
14						
15						
16						
17						
18						
19						
20						
21						
22						
23						
24						
25						
26						
27						
28						
29						
30						
31						
32						
33	完成検査					
34	不具合箇所修理、調整					
35						
36						
37						
38						
39						
40						
41						
42	アライメント調整					
43						
44						
45						
46						
47						
48						
49						
50	シミュレーターによる車両試験					
51						
52						
53						
54	最終調整					
55	"					
56	性能評価、サーキット授業（スパ西浦モーターパーク）					
57	車両チェック、修正					
58						
59						
60	課題					